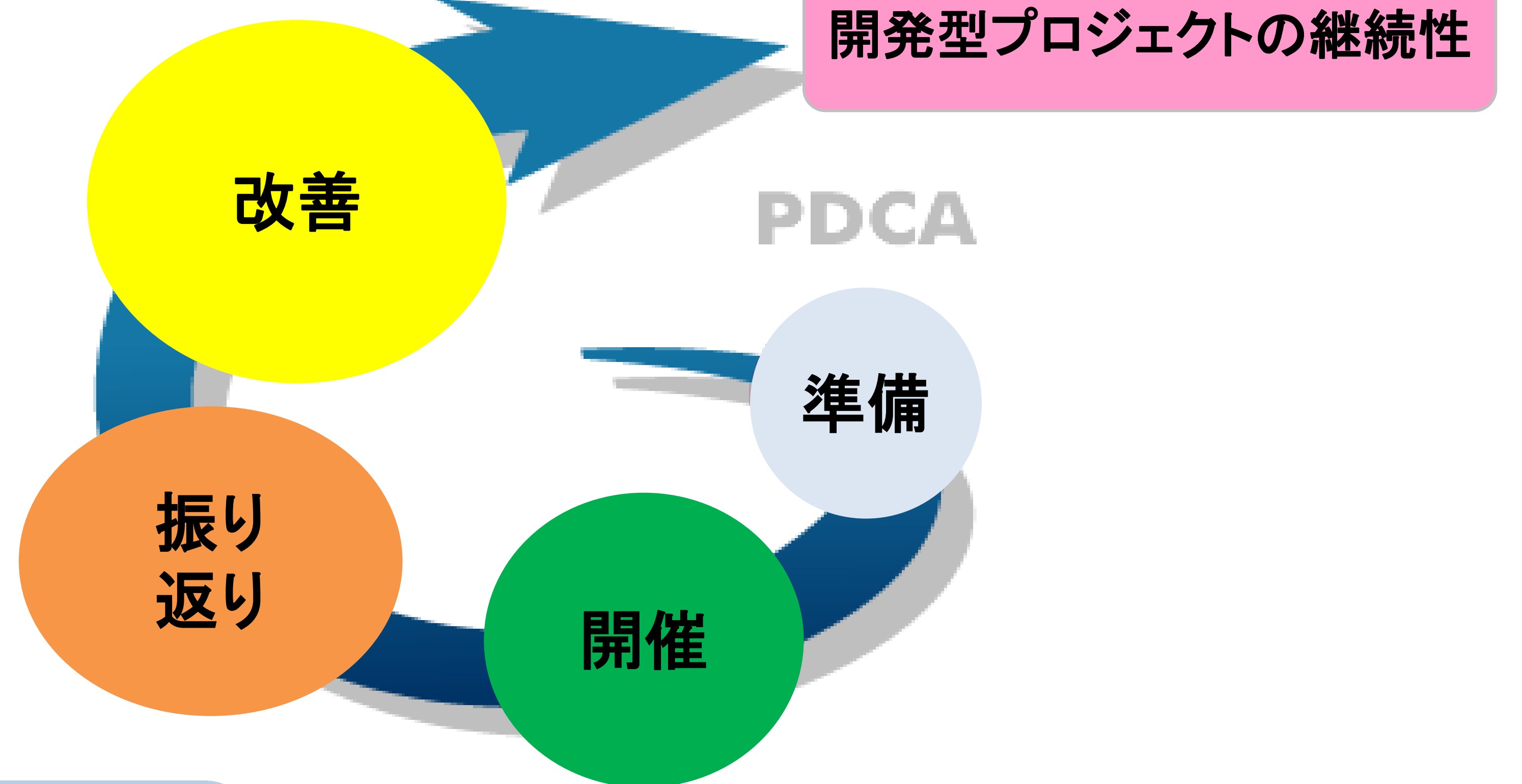


高校進学ガイダンス終了直後の振り返りの重要性 — 開発型プロジェクトとしての試み —

原田かおり(やまなし子ども学習支援連絡協議会、山梨県立大学)/齊藤祐美(やまなし子ども学習支援連絡協議会、山梨外国人入居ネットワーク・オアシス)
小林信子(やまなし子ども学習支援連絡協議会、ユニタス日本語学校)/萩原孝恵(山梨県立大学)

実践からわかったこと

- 終了直後に振り返りをすると
 - ・参加しやすい
 - ・記憶が新しい
 - ・様々な立場・様々な観点からの意見を得やすい
- 振り返りで出てきたポイントは
 - ・高校ブース
 - ・通訳
 - ・周知
 - ・教育制度の認識
 - ・教員との連携
 - ・参加者のニーズ



準備

- ・日本語指導センター校および中学校3学年主任の先生に講師を依頼
- ・通訳者に協力を依頼
- ・高校ブース出展高校生(公立、私立、定時制高校に在籍中)探し←苦戦
- ・実務:チラシ作成、周知活動

開催

ガイダンスの概要	時間	人数
全体説明会	13:00~14:00	34名
高校ブース	14:00~16:30	私立高校1名 公立定時制高校1名
個別相談会	14:20~16:30	6組15人
インタビュー	14:20~15:45	6組15人
振り返り	17:30~19:40	12名

振り返りの概要	
日時	2017年7月2日(日) 17:30~19:40
場所	ガイダンス会場近く
方法	対面式とし3か所にICレコーダー設置→文字化
参加者	講師1名(中学校教諭) 通訳者3名(チリ人1名、日本人1名、ブラジル人1名) 高校生1名(定時制高校) 行政2名(市役所外国人相談窓口担当者) 開催者5名

振り返り

A 高校ブースについて

母語で話せるブースに集中

- a 開催者:外国につながる子どもたちが進学しそうな高校を選んだが、参加者は高校に関係なく母語で話せるブースに集中した
=母語が違うブースには人があまり集まらなかった

空間作りの重要性 → 交流に影響

- b 開催者:スペースの作り方、座り方、進め方に問題があった

- c 開催者:高校生に何を質問したらいいかわからないという子どもがいた

- d 開催者:働きかけないと参加者はブースに行かない

参加者からの質問

- e 高校生:合格ライン、規則、学費、高校は楽しいかななどの質問があった

- f 開催者:通訳者が自分の知らない情報について熱心に質問していた

B 通訳について

通訳の入り方

- g 講師・通訳者:全体説明会ではいくつかの言語が混じり講師の声が聞きにくかった

- h 通訳者:あまり理解していなくても通訳は要らないという保護者がいる

通訳者: 参加者のプライドの尊重 ↔ 行政: 正しい情報を伝える重要性

- i 開催者・通訳者:通訳者が顔見知りのことがありプライバシーの問題を配慮する必要がある

情報量の多さ

- j 通訳者:全体説明会は情報量が多く通訳が間に合わないことがある

資料が複雑

- k 通訳者:全体説明会で配布する資料は詳細なものから要点のみにしてはどうか

C 周知について

教育委員会への周知

- l 行政:行政として教育委員会の周知の仕方を考えていなくてはならない

中学校への周知

- m 通訳者:チラシは3学年主任または進路指導の先生宛に送るといい

D その他

保護者の教育制度の認識

- n 通訳者:保護者は母国と日本の教育システムは似ていると思っているので日本の入試制度を知ろうとしないのではないかと

教員との連携

- o 講師:講師を頼める教員を増やしたほうがいい

参加者のニーズに沿う必要性

- p 開催者:開催者側の目的ではなくニーズに沿っていく必要がある

改善

A' 高校ブースについて

- a' 参加者の母語を話す高校生を探した

- a' b' d' 参加者の動線を考えた会場作りをした

- a' c' d' e' f' 各高校の特徴や情報がわかるポスターを掲示した

- a' d' 高校生の話す言語を貼りだした

- a' d' 開催者が司会をして、まず交流の場を作った

B' 通訳について

- g' 全体説明会の部屋を言語別に分けた

- g' h' 講師の話所要所所で区切り、通訳する時間を設けた

- h' i' 通訳者の配置を工夫した

- i' 通訳者を探して増やした

- j' 事前に、準備した資料を講師と通訳者に配り打ち合わせをした

- k' 配布資料は要点のみにし参加者が書き込めるようにした

C' 周知について

- m' 中学校へのチラシは3学年主任または進路指導の先生宛に送った

D' その他

- p' 参加者へのインタビューと振り返りの結果を反映させていく

◆今後の課題

保護者の教育制度への認識(n)、教員との連携(o)

ガイダンスの開催・継続

* 本発表では改善すべき点に焦点を当てている